

信州大学医学部附属病院に
過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ
薬剤部における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2023年5月16日

「薬剤師による周術期薬物治療管理への介入効果の評価」に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部倫理委員会の承認を受け、医学部長の許可を得て実施しています。この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	5821
研究課題名	薬剤師による周術期薬物治療管理への介入効果の評価
所属(診療科等)	信州大学医学部附属病院 薬剤部
研究責任者(職名)	信州大学医学部附属病院 薬剤部 内藤隆文(教授・薬剤部長)
研究実施期間	医学部長による許可日～2028年3月31日
研究の意義、目的	周術期薬物治療管理の有用性について、患者さんの不利益(副作用の発生、術前中止薬の再開忘れ等)を回避あるいは軽減した事例(=プレアポイド)に着目して評価することを目的とします。
対象となる方	2022年1月1日から2023年3月31日の期間について、当院入院中に手術を受けられた方
利用する診療記録	アレルギー歴、副作用歴のある薬剤の有無、術前中止薬の有無など
研究方法	過去の診療記録より上記の内容を収集し、薬剤師の介入によりアレルギー薬剤の投与を回避したり、術前中止薬の再開忘れを防いだりした事例について、発生要因の解析や予防策の検討を行います。
共同研究機関名	本研究は、信州大学のみで実施されます。
問い合わせ先	氏名(所属・職名): 信州大学医学部附属病院薬剤部 薬剤師 岩間創 電話:0263-37-3013

既存の診療記録を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。

当院外へ患者様を直接特定できる個人情報ができることはありません。

必要な情報のみを集計します。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な

点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。